

(様式第2)

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）

平成31年 3月29日

計画の名称	1 9. (仮称) 安八スマートIC並びに周辺道路の整備による、活力ある、災害にも強いまちづくり			重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成25年度～平成29年度 (5年間)	交付団体	安八町		
計画の目標					

本町では町内を通過する名神高速道路を有効活用した、本線直結型の「スマートIC」の整備を計画している。
 これにより、慢性的な交通渋滞の緩和、新たな企業の進出による活力あるまちづくりや、また災害時には緊急避難経路としての利用などを図ることを目的とし、道路を整備する。

計画の成果目標（アウトカム指標）	1. 名神高速道路へアクセス時間の短縮 63.6%解消 (岐阜羽島 16分→7分 (△56.3%) 大垣 20分→7分 (△65.0%) AVE △60.7%)				
------------------	--	--	--	--	--

アウトカム指標の定義及び算定式	アウトカム指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H29末)	
1. 町中心 (庁舎) から最寄ICへの時間短縮効果 ※時間計測工区は、庁舎から大垣IC、羽島ICまでの走行時間を計測 【(時間短縮率) = (H24当初の通過時間 - 評価時点での通過時間) / H24当初の通過時間 * 100】	0%		60.7%	
全体事業費	合計 (A+B+C+D) 2,418 百万円	A 2,418 百万円	B 0 百万円	C 0 百万円
			D 0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C) 0.0%

交付対象事業																				
A 地方道路整備事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
												H25	H26	H27	H28	H29				
383-A1	道路	一般	安八町	直接	安八町	市町村道	改築	0.55	南長田坊野1号線ほか	道路拡幅 L=1,975m	安八町						853			
383-A2	道路	一般	安八町	直接	安八町	市町村道	改築	0.55	南長田大淵線ほか	道路改良 L=1,160m	安八町						1,107			
383-A3	道路	一般	安八町	直接	安八町	市町村道	改築	0.55	六反不納場線	道路改良 L=220m	安八町						29			
383-A5	道路	一般	安八町	直接	安八町	市町村道	改築	0.55	本線跨道橋	名神高速道路本線横断橋梁整備 L=34m	安八町						429			
合計																2,418				

B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H25	H26	H27	H28	H29				
合計																			

C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
											H25	H26	H27	H28	H29				
合計																	0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H28	H29	H30	H31	H32			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	186	333	365	251	0
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	186	333	365	251	0
前年度からの繰越額 (d)	69	46	94	295	104
支払済額 (e)	210	285	163	442	104
翌年度繰越額 (f)	46	94	295	104	0
うち未契約繰越額 (g)	0	94	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	24.7%	0.0%	0.0%	0.0%
未契約繰越+不用率が10%を超えて いる場合その理由	-	用地補償の遅 延難航	-	-	-

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。